

# 令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立川北小学校 学校協議会

## 1. 総括についての評価

本年度の学校の自己評価は、妥当である。

本年度の目標項目については、予定していた取組を計画どおり実施し、【安全・安心な教育の推進】、【未来を切り拓く学力・体力の向上】、【学びを支える教育環境の充実】ともに、それぞれの目標・取組内容等を目標どおりに達成することができたと考える。

【安全・安心な教育の推進】における学校安心ルールを運用した「基本的生活習慣の確立(あいさつなど)」、「規範意識の育成」や「仲間づくり」、【未来を切り拓く学力・体力の向上】における「授業の充実」、「学力向上への取組」、【学びを支える教育環境の充実】における「ICTを活用した学習」、「教職員の働き方改革」に一定の成果が上がっていることは、評価できる。

今後も成果と課題をしっかりと踏まえ、校訓・学校教育目標(めざす子ども像)の達成をめざして、保護者・地域・進学中学校、関係機関(区役所等)と連携を図りながら、学校運営をすすめてほしい。

## 2. 年度目標ごとの評価

### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を77%以上にする。

令和7年度 73.1%⇒取組んだが、目標を達成できなかった

- 令和7年度小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあるとおもいますか」に対して肯定的な「思う」と回答する児童の割合を73%以上にする。

令和7年度 73.0%⇒目標どおり達成することができた

### 取り組み内容①

- ・日々の安全点検に加え、管理作業員とも連携し、危険な箇所など適宜、修理・修繕を行うことで安全な学校が保たれている。
- ・いじめアンケートの結果は各々の学級で異なるが、学期に一回定期的に実施することであいまいにならないうちに解決することができた。いじめの案件に対して、被害児童の安全確保を最優先とし、担任・管理職で連携して解決し、共通理解することができた。また、学校アンケートの「学校生活は楽しい」に対する肯定的な意見が85パーセント以上なので目標は達成できている。
- ・「いじめについて考える日」を通して、加害者だけでなく、傍観者や観衆も加害者になるということを指導することができた。
- ・よいところみつけ週間等の取り組みやふだんのクラスでの活動から、学校アンケートの「自分には、良いところがある」に対する肯定的な意見が75.3%から75.9%に上がっている。
- ・児童集会を定期的に行い、異学年交流をすることができた。挨拶運動や集会活動など、縦のつながりを持つ機会が多く、高学年が良い見本となっている。

### 取り組み内容②

- ・学校アンケートの「友達の気持ちを考えて助け合おうとしている」に対する肯定的な意見が 91.1%から 94.4%に上がっている。
- ・学校のきまりなどが、教室や児童の目のつくところに掲示されているため、学校の決まりを守ることの大切さの意識付けにつなげることができた。持ち物や服装について学校として一貫した指導を行うことができた。
- ・代表委員会で学期に一回挨拶運動を行うことができた。
- ・よいところみつけ週間では、児童が友達の良いところを見つけ自尊心を高めることができた。
- ・都度アンケートを取ったり、全校朝会の校長講話で学校のルールやなかまづくりについて、子どもたちに伝えたりしていることで、こどもたちは意識して学校生活を送ることができた。
- ・今年は清掃の時間に一緒に担当者が取り組んでいることが多く、清掃をきちんとする習慣がついている児童が増えてきた。

達成状況の評価は、妥当である。

児童は、規律を守り、日々、楽しく安全に学校生活を送ることができているようだ。学校安心ルールを運用し、基本的な生活習慣の確立(あいさつなど)、規範意識の育成、また、「仲間づくり」を通して、望ましい児童集団づくりをすすめており、一定の成果が上がっていると言える。今後も、人権教育の充実をはじめ、児童の心に寄り添い、自尊感情を醸成し、児童の心の成長を促す指導をすすめてほしい。

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。

**国語** 4年+0.17ポイント⇒目標どおり達成することができた

5年+0.04ポイント⇒目標どおり達成することができた

6年-0.04ポイント⇒取り組んだが達成することができなかった

**算数** 4年+0.19ポイント⇒目標どおり達成することができた

5年+0.03ポイント⇒目標どおり達成することができた

6年-0.12ポイント⇒取り組んだが達成することができなかった

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を60%以上にする。

**令和7年度** 65.1%⇒目標どおり達成することができた

#### 取り組み内容③

- ・校内研究も校外学習も計画的に実施することができた。

#### 取り組み内容④

- ・保健管理・衛生面の取り組みでは、手洗い週間を実施したことで、意識的に手洗いをする習慣が身についた。また、委員会の児童が給食中に放送することで、学校全体に周知することにつながった。
- ・食育の推進に関する取り組みでは、“つばき”へのスムーズな移行ができた。残食を減らすための取り組みを各学級で実施できた。
- ・体育的行事の充実では、なわとび週間やかけあしタイムなど、委員会の児童を中心として学校全体として体力づくりに取り組むことができた。

達成状況の評価は、妥当である。

児童の基礎学力の確実な定着をめざした授業の充実、教員の授業力向上に向けて、「深い学びにつながる数学的見方・考え方の探求」(算数科)を研究主題と設定した校内研究の推進など、学力向上への取組が活性化しているよ

うだ。

また、感染症対策、食物アレルギー対応をはじめ、児童の自主的な健康管理及び規則正しい生活習慣づくりが定着しつつある。

今後も、感染症対策を継続し、児童の体力づくりや「運動」に取り組む意欲の向上に努めてほしい。

#### 【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度において、授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く]

**令和7年度 79.4%⇒目標どおり達成することができた**

- 令和7年度において、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準Ⅰを満たす教員の割合を85%以上にする。

**令和7年度 100%（4月より全て100%）⇒目標どおり達成することができた**

- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。

**令和7年度 76.6%⇒取り組んだが達成することができなかった**

#### 取り組み内容⑤

心の天気の入力、デジタル教科書の活用、児童のプレゼンテーションソフトの使用など、必要に応じた機器の活用ができた。デジタイズ教科書や書画カメラも有効である。

#### 取り組み内容⑥

管理職による声掛けもあり、時間外勤務はずいぶん減少している。

#### 取り組み内容⑦

蔵書点検や整備を通して、児童の要求に応じられる図書館づくりを進めている。火曜日の PTA, 木曜日の司書の方による昼休みの開放も定着しつつある。

達成状況の評価は、妥当である。

「児童の学びの保障」に向けて、ICT 機器（タブレット等）の活用や双方向通信の環境の整備等がすすみ、ICT を活用した学習の環境が整ってきたことや教職員の働き方改革が進んでいることは評価できる。ただ、教職員の病欠などで欠員が出たままの状況が続いているのは残念。仕方がないこととはいえ、教職員という仕事に魅力が持てるよう、一層の働き方改革を進めていくことが重要である。

今後も、「ICT を活用した学習」における基礎的なスキル向上をめざした教職員研修をすすめてほしい。

また、読書活動や地域連携・小中連携についても、子どもをより良く成長させるために不可欠であり、充実させてほしい。

### 3. 今後の学校運営についての意見

安全・安心な教育環境の下、児童の教育活動が推進されることが最も大切なことである。

基礎学力・基礎体力の向上をはじめ、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」、「人間力」、「学びに向かう力」の育成も大切であると考え。児童の基本的な生活習慣の確立、感染症対策をはじめとするより良い健康習慣づくり、規範意識の醸成、仲間づくりを基盤とした「いじめを許さない学校づくり」、また、登下校の交通安全指導、スマホの正しい使い方などの安全教育や防災教育の充実に引き続き取り組んでほしい。

今後も、様々な教育課題解決のため、学校教育の質をより高めるため、また、教育活動をより活性化させるためにも、学校、家庭、地域、進学中学校、関係機関（区役所等）が一体となって、教育活動を推進していくことを期待する。

